

家庭との連携について

ポイント4: 家庭における学習習慣の定着

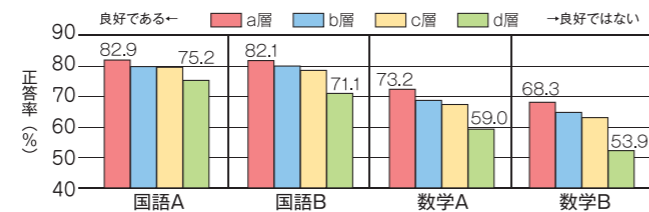
- ・家庭学習の内容を工夫するとともに、評価・指導の充実を図りましょう。
- ・保護者と連携し、家庭学習の習慣化を図りましょう。

家庭学習に関する状況

- ・家で計画を立てて勉強し、宿題や復習をしている割合は、昨年度より増えている。
- ・1時間以上勉強している割合は、昨年度より増えている。

●家庭学習と正答率の関係

家で計画を立て予習・復習するなど、家庭学習の習慣が身に付いている生徒の方が、正答率が高い傾向が見られます。



ポイント5: 規則正しい生活習慣の維持向上

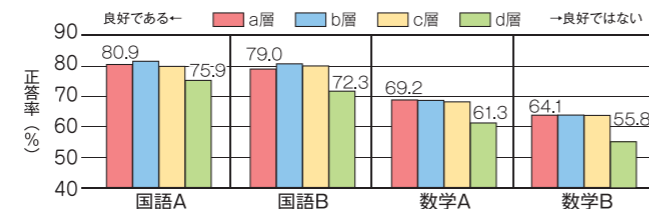
- ・「早寝 早起き 朝ごはん」を推進するなど、望ましい生活習慣の維持向上を図るため、家庭と連携を図りましょう。

家庭生活に関する状況

- ・朝食を毎日食べている、7時より前に起きる、11時より前に寝ている割合は、昨年度より増えている。
- ・テレビやビデオ・DVDの視聴時間が、昨年度より減っている。

●規則正しい生活と正答率との関係

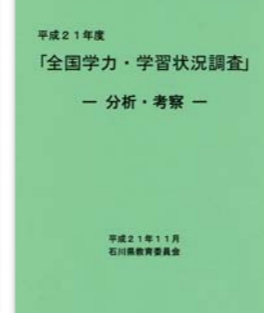
本県の生徒は、朝食を毎日食べたり、同じ時刻に寝たりするなど、規則正しい生活をしている割合が全国に比べて高く、こういった生活をしている生徒の方が、正答率に高い傾向が見られます。



石川県教育委員会では、全国学力・学習状況調査の結果をとりまとめた冊子「結果の概要」を9月に、「分析・考察」を11月に配付しました。各学校の参考となるデータや改善に向けた指導事例が記載されていますので、ぜひ活用してください。なお、石川県教育委員会HPからもダウンロードできます。

(検索)

「石川県教育委員会」→「学校指導課」→「学力調査」



子どもたちの「学力向上」を目指して!!

— 平成21年度全国学力・学習状況調査の結果から —

石川県教育委員会



平成19年度より実施され、3回目となる今年度の全国学力・学習状況調査では、本県の生徒は、国語・数学ともに全国平均を上回りました。学習・生活状況では、全国に比べると、早寝早起きで、宿題をきちんとしている、テレビやDVDを見る時間が短いといった傾向が見られました。しかしながら、国語や数学は好きだ、将来の夢や目標を持っていると答えた生徒の割合が、全国に比べて低いという課題が見られました。

各学校では、今後の学力向上に向けた「5つのポイント」を基に、校内研修を充実させ、生徒の実態や学校の実情を踏まえた実効性のある学力向上プランを検討・作成し、学校全体で取り組んでいきたいと思います。

ポイント5

規則正しい生活習慣の維持向上



ポイント1

「活用力」を高めるための指導の充実



ポイント4

家庭における学習習慣の定着



指導改善のための5つのポイント

ポイント3

自尊意識・規範意識を高める指導の充実



ポイント2

学習意欲を高めるための指導の工夫改善

